

38期 ～行財政入門講座～

第四回テーマ あなたが止める地球温暖化

◆ 進みつつある地球温暖化と私たちの暮らし

◆ 私たちが身近で出来る対処は？

講師 環境課主事 佐藤雄太氏

報告 R. A

実施日 平成 27 年 6 月 19 日 (金)

場 所 富士見市民活動センター ぱれっと
時 間 午前 10 時～12 時
参加者 17 名



地

球温暖化はテレビや新聞で色んな角度から毎日のように報道され、いまや誰もが知っている言葉となっています。

北極地方の氷が融けたり、強大化した台風やハリケーン、熱波や洪水、干ばつなど、世界のあちこちで起きている異常現象に不安の思いを抱きつつ実際は日常生活に没頭され“何もしない”と言うのがほとんどの人の実態ではないでしょうか。

今回「あなたが止める地球温暖化」と題して、地球温暖化の仕組み、温暖化による影響、富士見市や埼玉県温暖化対策、さらに私たちが身近に取り組む（家庭で出来る）温暖化対策について学ぶことが出来ました。

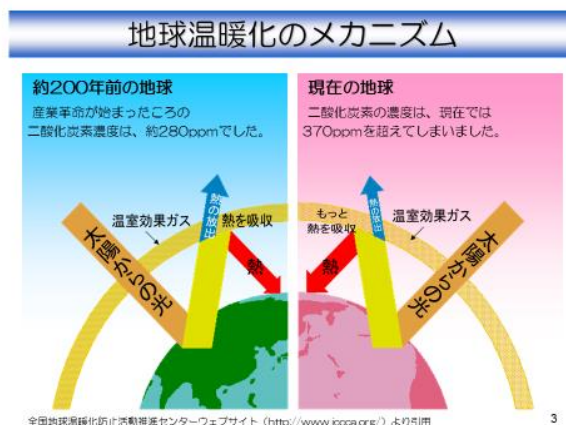
テーマが一見日常生活とかけ離れているように思えることもあって受講者が若干少なかったのは残念でしたが、講座の中味は解かりやすく受講者は大変満足したようです。1. 5時間の講義の後の質疑応答も活発に行われました。

1. 講座あらまし

テーマ あなたが止める地球温暖化

1. 地球温暖化の仕組み
2. 地球温暖化による影響
3. 富士見市の地球温暖化対策
4. 埼玉県の地球温暖化対策
5. 身近に取り組める地球温暖化対策

◆地球温暖化のメカニズム

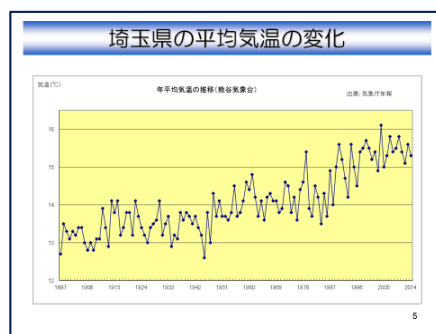


◆温室効果ガスーCO₂と仲間たちー

二酸化炭素 排出量 1216.0 比率(%) 94.7%

産業、民生、運輸部門などにおける燃料の燃焼に伴うものが全体の9割以上を占め、地球温暖化への影響が最も大きい。

◆埼玉県の平均気温の変化



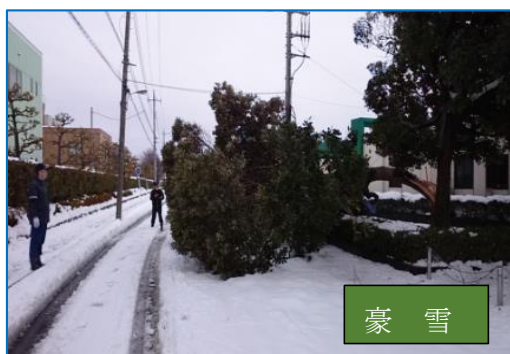
◆地球温暖化が進むと日本はどうなる？



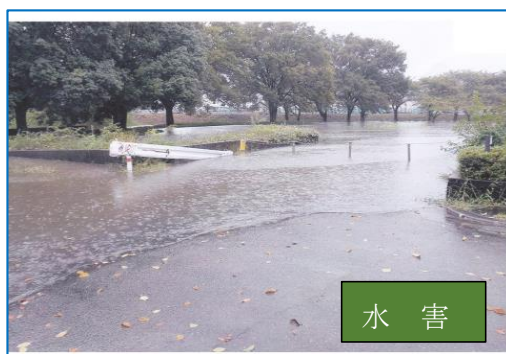
高温によるリンゴの着色障害



樹木の倒壊



豪雪



水害

◆富士見市の地球温暖化対策

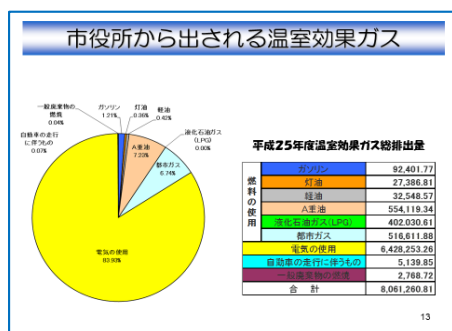
1. 富士見市地球温暖化対策実行計画の推進

市役所から出される温室効果ガスを減らすために、市役所で働く人達がやるべきことを定めたもの。

2010年度の温室効果ガスの排出量を、2016年度(基準年)に比べて5.85%削減目標

2. 太陽光発電システム設置奨励金交付事業

交付金額 : 一律5万円



13

太陽光発電システム設置奨励金

温室効果ガスの排出量の削減を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置し、省エネに取り組む皆さんに予算の範囲内で奨励金をお渡ししています。

- 交付金額 一律5万円
- 交付実績
 - 23年度 122件
 - 24年度 142件
 - 25年度 176件
 - 26年度 117件

今年度も引き続き募集中です!!

14



15

3. 市庁舎の壁面緑化



壁面緑化の効果

■ 壁面緑化をするとある、こんなイイこと

- ★ 直射日光や、地面からの照り返しの熱をさえぎり、室内の温度上昇を抑える。
- ★ 緑のつるが空気中の二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の進行を抑える。
- ★ ゴーヤやヘチマの実がなったら食べられる。
- ★ 緑を見て心がなごむ。

18

4. 環境学習の推進

- ・ 環境講座、出前講座・
- ・ エコライフ DAY

富士見ふるさと祭り環境コーナー

富士見ふるさと祭りの環境コーナーでは、ごみの分別・減量化のクイズ、エコキャップの回収、景品の贈呈等を行っています。昨年度は、ブルーベリーの苗木の配布を行いました。

23

5. その他啓発事業

- ・ 富士見ふるさと祭り環境コーナー
- ・ 地球温暖化防止キャンペーン

環境講座の開催

環境課では、富士見市環境施策推進市民会議との共催により、環境意識の向上を目的とした講演会を毎年2月頃実施しています。

「26年度「循環型社会を作るために私たちができること」開催

エコライフDAYの推進

家庭からの二酸化炭素排出量を削減するため、節電・省エネなど環境に配慮した生活を1日実践することにより、地球温暖化防止のためのライフスタイルの定着に向けたきっかけづくりを行います。

21

出前講座の開催

地球温暖化問題やごみの分別など、様々なテーマについてお話しする、講座を開催しています。

「小中学校などでの出前講座の開催

20

◆ 埼玉県地球温暖化対策

埼玉県の地球温暖化対策

■ ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050

2020年における温室効果ガス排出量(需要側)を...

2005年比 21%削減

- ① 家庭部門の省エネ化を進める
- ② 運輸部門の低炭素化を進める
- ③ 再生可能エネルギーの活用と産業の発展

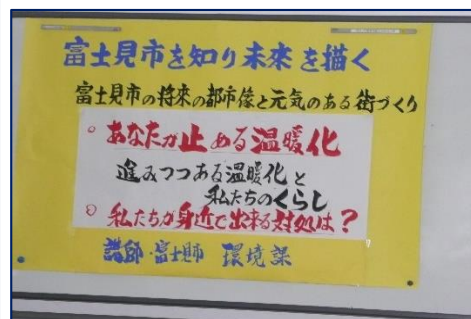
24

◆ 家庭で出来る温暖化対策

- 01 冷房の温度を 1℃ 高く、暖房の温度を 1℃ 低く設定する
- 02 週 2 日往復 8km の車の運転をやめる
- 03 1 日 5 分間のアイドリングストップを行なう
- 04 待機電力を 90%削減する
- 05 シャワーを 1 日 1 分家族全員が減らす
- 06 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
- 07 ジャーの保温を止める
- 08 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を 2 割減らす
- 09 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

どれだけでできますか
省エネクイズ (○×でお答えください)

- Q 1 冷蔵庫の中が少ないと電気がもったいないので、一杯ものを詰めた方が省エネになる。
- Q 2 お風呂にお湯をためるとき、水から沸かす方法とお湯をそのままお風呂にためる方法では、お湯をためるほうが省エネになる
- Q 3 電車は、走っているときに二酸化炭素を排出しないので、もっとも環境にやさしい乗り物である。
- Q 4 家族が一緒にご飯を食べたほうが省エネになる。



3. アンケート集計結果

1. 集計結果

1. 配布数 15人
2. 回収数 13人
3. 回収率 86.7%

2 回答者

- | | | | |
|-----------|-----------|-------|------------|
| 1. 50歳以下 | 0 (0.0%) | 1. 女性 | 3 (23.0%) |
| 2. 51～60歳 | 1 (7.7%) | 2. 男性 | 10 (77.0%) |
| 3. 61～70歳 | 6 (46.1%) | | |
| 4. 71歳以上 | 7 (53.8%) | | |

3. 設問と回答

Q1. 今回の講座の満足度。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 大いに満足 | 6 (48.0%) |
| 2. 普通 | 7 (52.0%) |
| 3. 不満（期待外れ） | 0 |

Q2. 今回の講座開催についてお尋ねします。

- | | | |
|---------|----|------------|
| 1. 開催時期 | 良い | 13 (100%) |
| 2. 時間 | 良い | 12 (92.3%) |
| 3. 会場 | 良い | 12 (92.3%) |

Q3. 次期も行財政講座を受講したいですか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 受講する | 8 (61.5%) |
| 2. できたら受講する | 5 (38.5%) |
| 3. 受講しない | 0 |
| 4. 内容による | 0 |

Q4 今年度の下記テーマの期待度（第一回からの累計）

- | | | | |
|--------------|----|------------|----|
| 1. 市長講座 | 20 | 4. 富士見市の財政 | 10 |
| 2. エンディングノート | 10 | 5. 地球温暖化 | 6 |
| 3. 震災・防災対策 | 12 | 6. 市議会傍聴。 | 8 |

4. 今後取り上げて欲しいテーマ（第一回からの累計）

No	テーマ	累計	第一回	第二回	第三回	第四回
1	認知症サポーター制度	18	13	1	4	
2	富士見市の未来予想図	17	12	2	2	1
3	防災・震災対策	13	12		1	
4	富士見市の財政事情	14	9	1	2	2
5	戸籍と住民基本台帳について	6	6			
6	うるおいやすらぎ「公園・緑地」	5	5			
7	身近な税金	8	5	1	2	
8	富士見市の商業（活性化の取り組み）	7	5	1		1
9	富士見市の農業	9	5	2	1	1
10	地域の防犯、自主防災組織	5	5			
11	身近な国際交流	7	4	2	1	
12	消費生活の豆知識（悪徳商法対策等）	4	4			
13	市内の青少年健全育成活動	3	3			
14	情報公開制度の仕組みと運用	4	3			1
15	子供をまもれ、子供たちの安心安全	4	3			1
16	成年後見制度	5	3	1		1
17	男女共同参画社会について	3	2			1
18	富士見市の交通安全について	2	2			
19	富士見市の教育（教育委員会の役割等）	2	2			
20	選挙の基本的仕組み	3	1	2		
21	育児講座	1	1			
22	情報考課制度の仕組みと運用	3	0	2	1	
合 計		143	105	15	14	9

省エネクイズ 答えと解説

Q1 答え ×

冷蔵庫内にものがつまっていると冷気の流れが悪くなり電気を多く使います。常温で保存できるものは冷蔵庫に入れないようにしましょう。また、冷凍庫は、逆にものをギッシリ入れている方が保冷効果が高くなり、電気代も節約になります。



Q2 答え ○

お湯をそのままためる方が、お湯を沸かす仕組みが効率的なため省エネになる。

Q3 答え ×

電車は走るときには二酸化炭素を排出しないので自動車よりも環境にやさしいといえますが、電気を使って動くため、電気を作る時に発電所で二酸化炭素を発生していますので「もっとも環境にやさしい」とはいえません

Q4 答え ○

家族がばらばらでご飯を食べると、その都度温めなおしたりしなければならないなど、みんなで一緒に食べる時よりもエネルギーがかかります。



38